

LIP（りっぷ）は、枚方市民発の
福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの
情報を掲載する地域密着型情報紙です。

2025年9月号



6. 浪江町請戸漁港から福島第1原子力発電所を臨む。見えているのは原発の排気塔やクレーン。わずか6km先に廃炉作業をしている原発がある町に、人が住むということの意味を考えてほしい。



7. 大熊町にあるJR大野駅前の様子。新しくつくられている道路には、かつての商店街があった場所。震災前の人々の暮らしの痕跡がどんどん消されていっている。



14年目の福島浜通りを訪問して 本文P4,5

10. 南相馬市原町区の北泉海岸から昇る朝日。この海岸はサーフィンが盛んで、国際大会も開かれている。この海に、原発から汚染水が放出されている。



✎ 言いたい放題！アッキー28号 (72)

戦後80年 8月に思う

✎ 【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ⑩~

✎ 14年目の福島浜通りを訪問して

✎ 今月の五行歌

✎ なんちゃって農業女子(49)

✎ 五行歌連作 八月十六日に

✎ イベント紹介/会計報告/編集後記

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



忘却は
救いでもあるが
忘れてしまつては
いけないこともある
八月は 鎮魂のとき

8月になると、テレビや新聞で過去の日本の戦争についての番組や記事が多くなる。特に今年「戦後80年」。先の戦争の記憶を持っている人たちが高齢化し亡くなっていくなかで、戦争の記憶をどう引き継いでいくかが問題となっている。

戦争を知らない世代の語り部育成の試み、沈黙をまもっていた高齢者が近づく死を前に今戦争体験を語り始めたなどという報道の続くなか、ある日は戦中の幼稚園児の遊びを映した映像を観た。たくさんの園児が鉄兜を被り、雄たけびを上げながら階段を駆け下り、銃に見立てた棒を構える。白黒の粗い画面いっぱい、紅潮した顔で走り回る幼い子らのすがたに、ああ、こんな風に子どもたちは「戦場」に憧れ、「戦いの勝利」に胸を高鳴らせていたのだと胸を衝かれた。

そして、大正末年生まれの母が語っていた提灯行列のことを思い出した。「夜、近くの御陵まで、ご近所皆総出で、提灯を手に歩いていったんだよ」。美しい提灯の灯、ワクワクする気分だったと懐かしそうに語る母。冬の夜のその行列は「南京陥落」を祝うものであったと最後に聞いて、仰天した。数万人から20万人もの犠牲者が出たとされる南京事件。それをおめでととお祝いしていたのだ。

「神武、綏靖、安寧、懿徳、……」。亡くなった大正天皇まで123代の天皇の名を母は諳んずることができた。母だけではない。戦時下

言いたい放題! アッキー28号 (72) 戦後80年 8月に思う

の子どもたちは皆学校で教えられ、123の名を暗記できない子は教師に叱責され手を叩かれた。学校には天皇の写真が飾られ、その前を通るときには最敬礼。私の父は小学生の頃うっかり走って前を通り過ぎ、教師からしたたかに殴られた。「戦争は教室から始まる」という本があるそうだがまさにそう。皇軍の兵士になるように教育されていたのだ。



さて、少し前まで「戦争」といえば、自分たちの生まれる前、父母や祖父母らの世代が経験した戦争のことであつただけけれど、今や、テレビをつければ、ウクライナやガザへの爆撃、民間人や子どもたちが犠牲になったというニュース。なぜこんなことに!?!と憤り悲しむ気持ちやがやがて麻痺して無感覚になっていく。目を背けないことが大切だというけれど、見ていくだけで何ができるのか。「抗議のスタンディングしよう」と誘ってくれる友達もいるけれど、今の私にはそんな時間も気力もない。時々思い出せばうつつうつつとしているだけ。

鴉川久子

80年前の夜
人間の焼ける匂い
逃げまどう人々
私は語りつづける
戦争のおろかさ

ちよつどその頃参加した豊中の歌会で、戦下の体験をうたった五行歌に出会った。作者の鴉川さんは当時小学生。疎開先に母親を迎えに来て、空襲で見失ってしまった妹と一緒に探に行つたという。「妹は幸い無事だったが、あの

匂いは忘れられない」と話してくれた。いつも陽気で明るい方だけれど、そんな体験を通り越しての今、なのだ。そう思うと、拝みたいような気持ちになつた。

また、広島に原爆が落ちたとき、大阪でも黒い雨が降つたという話も聞いた。「そうそう、色のついた雨が降つた。近所のお年寄りから聞いたわ」と言うひとも。そんなことは私は初耳だったが、事実であっても伝えられることがなければ忘れられ、やがて、なかつたことになってしまうのだらう。では、やはり語り継ぐことは大切なのだ。

8月18日、京都府の精華町と京田辺市にまたがる「陸上自衛隊祝園分屯地」に弾薬を保管する火薬庫を増設するための工事が始まつた。住民に十分な説明もなく始まつた工事に対して、地元の人たちはミサイルの保管や配備を行わないことなどを求める申し入れを行い、6、2メートルのトマホークの絵を描いた垂れ幕を掲げて分屯地の前で抗議行動を行っている。分屯地は枚方から約10km、爆発事故が起きれば火の海になるといわれる圏内だ。工事現場の様子を伝える写真を見ながら、「ついに当事者となつたか」と思うこの頃。

80年前の戦争の記憶を継承していくこと、遠くウクライナやガザで行われている爆撃と殺戮に目をふさがないこと、そして自分たちも戦争ができる体制へと徐々に押しやられていくと敏感に気づくこと。それしかないよね……。うだるような暑さのなか、そんなことをつらつら考えている。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。
放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』代表
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ⑩❤~

~智頭急行~2025.4.21~

【智頭急行】智頭急行(ちずきゅうこう)とは、兵庫県上郡駅から鳥取県智頭駅を結ぶ第三セクター鉄道会社、およびその路線(智頭線)のことです。特急「スーパーはくと」や「スーパーいなば」が運行されており、京阪神・山陽と鳥取を結ぶ重要な路線として知られています。

智頭急行
~2025.4.21~

鉄印帳を購入する前、団体バスの旅などで乗る以外では、唯一乗ったことがある三セク鉄道がこの「智頭急行」でした。というのも、25年ほど前に、知り合いの息子さんが「智頭急行」沿線の「西粟倉村」に移住して、そこが「川もきれいで、自然も豊かで、鹿肉などのジビエも食べれて、温泉もある」という話を聞いて、何度か友達やその子どもたちも引き連れて、夏休みに遊びに言ったことがあったのです。

友達の子どもの大きくなり、しばらく言ってなかったのですが、数年前に「智頭駅の近くの『みたき園』というお店が、すごくよかった」という話を聞いて、思い立ったらすぐ行きたくなる私は、教えてくれた友達と、車の運転が得意な友達も一緒に久しぶりに訪問。

『みたき園』を教えてくれた友達のアテンドで智頭の観光を楽しんで、最後に駐車場で、「5本指あしぶくろ」と出会った話は、過去に記事にしたことがあったのですが……実はその時、智頭急行の駅でチラリと鉄印帳を見かけたの



ショッキングピンクの「恋山形駅」

です。でもそのときは「これ以外の三セクに乗る予定ないしなあ」とスルーしたのでした。しかしある意味一番よく行く駅である智頭駅で、鉄印をもらわないという理由がない!「5本指あしぶくろ」の仕入れも兼ねての鉄印旅です。

今回も鉄印友達と、1泊2日のグルメ旅。みたき園での自然食ランチと、お庭の景色を堪能して、次に記事にする若桜鉄道に乗りに行き、あわくら温泉に泊まって、夜は鹿肉ジビエのコース料理、もちろん5本指あしぶくろの仕入れもしてと、やりたいこと詰め込んだら、鈍行列車に乗っていたら間に合わないスケジュール(笑)

何を削るか……と考えてたら、私よりさらに貪欲な鉄印友達は「やりたいことは全部やる」ということで、「高速運転は任せとき!」となりまして、鉄印

集めの車旅となりました。

2人で私の車を運転できるように、ローソンでワンデー保険をかけて、高速に乗って鳥取まで約3時間のドライブです。

天気にも恵まれて、景色のいいみたき園でまったりご飯とお茶もしてたら、鉄印もらえる時間が過ぎて、次の日に再訪することになったのはご愛敬(笑)でも車なら問題ない(((^_^;))

翌日智頭駅で、無事鉄印をゲットしました。智頭急行には今回は乗らなかったけど、一部に有名な、山のなかに突然現れるショッキングピンクの「恋山形駅」も立ち寄って、初めて見る友達のご機嫌❤

みたき園のあとに訪れた若桜鉄道については、また次回。

(たなべみか)



智頭駅の近くの『みたき園』

14年目の福島浜通りを訪問して

8月7日から、福島県の浜通り地方を訪問してきた。原発事故が起きた2年後から行き始めて13年目になる。「原発事故後の浜通りの現状を伝えてほしい」と始めて福島県に行ったときに現地の教員仲間に言われたことと、その時に見た現状から「自分にできることを継続して続けたい」と感じたところから、この取り組みを今まで継続している。

福島第一原子力発電所の事故によって、広い範囲（東北地方から関東、中部地方にいたるまでの地域）が放射性物質によって汚染され被害を受けた。その中でも、福島県の浜通りと呼ばれる太平洋に面した地域は広い範囲に避難指示が出され、強制的に避難をせざるをえなくなった。私たちがはじめて行った頃からの数年間は、町はあるけど人の住まなくなった町や、津波で壊された建物がそのままの姿で放置された町がそこにはあった。人のいなくなったゴーストタウンの様子は、行って初めて感じる空気感だった。

その場に立って感じるのには、ここにはひとつひとつの家に人が住んでいて生活があったということ。その生活の場を追い出された人たちは、事故まで当たり前だった生活が壊され、新たな生活を一から創らなければならなかったということ。「金がもらえていいね」という心ないことばが掛けられたが、金でどうこうなる問題ではないと感じた。

そして今、多くの地域の避難指示が解除されている。解除されたところには、新しい町がどんどんつくられている。大阪にいと、そんな「復興」を強調するニュースだけが流されるが、現実には、避難せざるを得なかった多くの人たちは元の家に戻れない状況にある。それぞれの事情は違うが、いくら政府が「安全」と言っても実際には高い放射線量の町に「除染した」といわれても、小さい子どもを抱えて戻ることができないのが現状で、

実際に元の住民で解除後に戻った人たちは1割もいるかどうかの状態。居住者数が増えているといっても、廃炉作業をはじめとする原発関連で働くために来た人たちなどの他地域からの移住者がその多くを占めている。今回、避難指示の出ていた場所、そして今も避難指示が解除されていない場所に訪問したが、そんな現状は変わっていない。大熊町や浪江町の駅前の再開発がすすめられている。しかし、その再開発をしている場所はもともと家や商店街のあった場所が、もともと何があったのかもわからないくらいに建物が解体され、新しい区画整理の元新しい町がつけられている。大熊町の大野駅前にはCREVA おおくまという施設がつけられ、東電をはじめとする企業が誘致されている。この施設に来るために駅の乗降客も増えているようだった。しかし、ここにはまだ人が住んではいない。ほとんどの家が解体され、そこにあった駅前商店街の飲食店や様々な商店も姿を消している。国も県も町も、今も住民登録をしている避難者たちをどうしていくのかということより、新しい町をつかって新しい住民を増やすことに力を入れている。

このような、被災者を横に置いておいてすすめる「復興」が本当に必要な復興なのかと思う。戻ってこない被災者が戻らないのは「事故責任」で、新しい人生を一から作り直すことに国や東電は責任はないのかと感じる。

何度も、この地を訪れて、町と人の変化を見てきたが、この地の復興が進んでいるとは到底思えない。

今回の訪問でもう一つ強く感じたことが、浜通りに事故後も続けて住んでいる人と、避難している人の分断を改めて感じた。変化に対する感じ方が大きく変わってきたということだ。「事故も悪いことばかりじゃない、良いこともあるよ」「風評が広がらないように、理解が広がれば良い」ということばを聞いたからだ。どんどん「先進的な取り組み」が教育、産業などの面ですすめられる



1. 浪江町にある、JR 浪江駅前を撮影。2017年に避難指示が解除された後、次々と建物の解体が進んだ。今は、隈研吾デザインによる新しい駅前再開発事業の工事が始まった。



2. JR浪江駅の駅舎。2017年にこの駅から北側が開通し始発駅として開業。2020年に常磐線が全線開通した。この駅舎も年内には取り壊されるそうだ。

ことで、「良いこともある」ということを実感として感じ始めているからではないか。それって、原発をつくと町が栄えると、今から50年以上前に原発がつくられる中で感じたことではないか。原発は安全、放射能は安全、そして原発の経済効果は計り知れないということ、徐々に植え付けていったことと共通してはいないかと思う。

原発事故によって何が起きて、今どんな状態にあるのか、何が問題で事故が起きたのかということ、を改めて事故後15年を迎える前に、すべての人が自分事として考える必要があると思う。

木村 英生 (大阪市中学校教員、あいむひあ大阪事務局)

※写真の解説 (写真は朝日以外は2025年8月8日、朝日は9日に撮影)



5. 浪江町の棚塩につくられた産業団地。目の前に広がるのは「水素ガス」を製造する研究施設。いま浪江町は「水素タウン」としての復興をめざしている。



3. 浪江町津島地区の農家の家。歴史的にも価値のある門がここにあったが、避難指示が解除される中で、放射能汚染を考えると解体するしかないと決断し去年末に解体された。知らない人がこの家の前を通っても、この地域の放射能汚染の状況やここに何があったのかも知ることはできない。



8. 大野駅前に昨年末に建てられた「CREVAおおくま」多くの企業がこの建物に入っている。



4. 3の写真の家の前にある「田んぼ」14年前から一度も耕作されることがなく、これからもここに稲が育てられることもないだろう。福島県の浜通りにはこんな耕地がたくさんあり、そこにはメガソーラーがつけられている。



9. 富岡町の夜の森地区。ここは桜並木の名所として知られていた。2023年に避難指示が完全に解除されたため、人が住むことができるようになったが、住む人はほとんどいない。「桜はきれいに咲くがもう家はない」ここに住んでいた人のことばである。

LIPが選ぶ

今月の五行歌

ガリガリくん

まゆみ

クールピロー

イミダペプチドのサプリ

今年の夏の

三種の神器

カラスとハト対策に

ちえこ

鷹の出番

鷹匠さんの

お手並み拝見

効果はいかに

ほら 夜空に手をかざして

桑本明枝

想像してみて

この星に

今生きている

私たちは皆同期生

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com
または 090-5893-5635・豊高)

No.49

なんちゃって農業女子(笑)

今回は「今が旬のネタ」を! 「旬のネタ」と言っても、寿司屋さんじゃありませんので「秋刀魚」ではありませんよ。(笑)

先月号でもお伝えしましたが、この夏の暑さで「野菜たち」みんな悲鳴をあげています。が、恐ろしい事に「雑草」だけはみるみるうちに大きくなって去年以上に「草刈り」に追われる日々です。「旬のネタ」というのも、実はその「草刈り」です。写真①の旺盛な姿を見て下さい。これは「さつま芋の畝」ですが、雑草に飲み込まれてこんなことになり、「つる返し」をしようにも、先ず、草を刈り倒してからです。水を求めて雑草の下をかいくぐって伸び放題になって土に根を張ろうとしている「さつま芋」の弦たちを、一つ一つ「土」からめくり取って弦返しを行います。

以前にも説明しましたが「つる返し」とは芋が自分の畝よりも遥かに伸びて行って伸びていき、根を張ろうとするのを「阻止」する行為です。何故それ(弦返し)が必要か? というと「弦」をそのまま伸び放題にしていると、伸びて行った弦から根が出てきて、その場で根を張ろうとします。そうすることで、本来芋になるはず



写真①

の根への栄養が十分に届かない事になり「芋」が太らなくなります(栄養分散)。それをさせないためにも「つる返し」をして、根をあちこちに張ろうとするのを「阻止」するのです。草刈りして草へ水や養分を取られることも「阻止」しないと……

草刈り及びつる返ししたのが、写真②です。これが旬のネタ(笑)

秋の収穫が楽しみですが……この水不足で本当に芋が育っているか? 心配ですね。

その他の野菜は、とにかくこの暑さを避けて「早朝」か「夕方」に水やりを頑張っ、ようやく納品できるような「茄子」や「胡瓜」になってきました。数は少ししか収穫できないので「旬の駅」には並べることは出来ませんが、青谷の「梅工房」で、毎週土曜日の朝委託販売させていただきます。

文・写真／へそくん



写真②

五行歌連作

八月十六日に

桑本明枝

経験のない暑さの夏

八十年余り前の映像を観る

鉄兜を被り走り叫び

静止して棒を構える園児たち

その高揚した顔を見つめる

「歴史の宝庫だから

空襲されなかった」

京都出身の母は胸を張るけど

降伏が遅れてたら

三個目の核爆弾落ちたともいう

古の伽藍も塔も

一瞬にして溶け

百万市民が焼け焦げる

地獄絵が浮かぶ

十五日に決断してよかった

それでも降伏しないなら

最後は首都東京

皇居に核が爆裂する頃

天皇は松本にでも

連れて行かれていたのだろうか

「被爆者を私たち限りで」

と声枯らす広島長崎の人たち

「私らだって被ばくした」

と訴える原発事故避難者

過去は 今も目の前に

戦争責任を問おうとしない

うちの国

加害の歴史を振り返らないから

戦争を語ると 全て被害者

泣きのドラマになる

戦犯を執拗に追いかける

というのもどうかと思うが

行われたことを徹底的に

精査するドイツ

同じことは

決して起こさないという決意

国を二つに分かたれ

親族恋人が

涙の別れをしないと

学べないというか

分割を免れた平和日本

お隣の国の戦争勃発で

景気が良くなり

復興を果たせた

そして奇跡の経済成長と

おとなになり学ぶ

日本の歴史世界の歴史

教科書最後の近現代史は

学年末で時間切れ

学校で殆ど学べないのは

わざとだと夫は言う

いちばん腹が立つのは

先の戦争で戦死者より

餓死者の方が多かったということ

それを最近まで私が

知らなかったこと

真っ先に戦場に送られ

悲惨な目に遭うだろう男どもが

街頭で拍手喝采

戦争したい政治家を推す

シヤレにならへん

なんで教えへんねん

受け取らへんのはしゃあない

反抗するのも自由だけど

自国と世界の近現代の歴史は

学校で最初に学ばせなくては

「平和」という語が嫌い」

強要されたからうちの子らは

『平和』という語が嫌い」

いつも柔和な女性の発言に

言葉を失う

今日の私は

やたら攻撃的

八月十六日

戦争を考える週間が終わる

明日から普通の日だというか

忘却は

救いでもあるが

忘れてしまっただけ

いけないこともある

八月は 鎮魂のとき

何度も繰り返し

思い出さねばならない

八十年前の凄惨な記憶

拳を握りしめ

新聞記事を読む

戦争の記憶を

語り継ぐのは

過去を繰り返さないため

今私たちは大丈夫と言えるか

ぐっと拳を握る

(2025年8月 18首)

プロフィール

桑本明枝(くわもと・あきえ)

五行歌の会同人・五行歌ひらかた歌会代表

五行歌集『コケッコの妻』(2021年、

市井社) 五行歌集『碧の星』(2022年、

市井社)の著書は、枚方の図書館にも寄贈されて

イベント・サークル・ボランティア情報

【穂谷里山マルシェ】

◇9月7日(日曜) 11:00-15:00
 ファミリーで遊びに来れる!
 のんびり過ごせる!
 わくわく楽しめる。
 食べられる。
 9月は穂谷公民館にて室内開催。
 (枚方市穂谷3-3-10 京阪バス穂谷下車1分)
 いろんなワークショップあり
 手こね石鹸11:00-12:00
 ◇主催: 藤阪子ども食堂隊
 ◇連絡先: たなべ mikan-tnb123@yahoo.ne.jp
【同時開催】講習会 あなたもしゃぼん玉マスターに♪
 ・当日 10:30-1200
 ・秘伝の夜の作り方、道具の作り方、遊び方、全部教えます
 ◇要予約/定員先着6名まで
 ◇参加費 2000円(材料費込み)
 ◇連絡先: わたなべ nabeleeman@gmail.com

ミドル・エイジの心理学講座(全3回講座)

ミドルエイジ(中高年)の課題である対人関係の問題や生き方の課題などの解決法を心理学から学びます。
 ◆日時 9月12日(金)・19日(金)・26日(金)
 すべて10時30分~12時
 ◆場所: ラポールひらかた
 ◆参加費: 3000円(全3回分、資料代含む)
 ◆定員: 15名
 ◆対象: 18歳以上
 申込・問合せ先: NPO法人京阪総合カウンセリング
 TEL 072-814-7140
 メール jim@npo-ksc.net
 http://www.npo-ksc.net

「北陸・リニア新幹線と交野の水」

◆日時 9月21日(日) 14:00~16:00
 ◆場所 交野市ゆうゆうセンター2階(橋本学習室
 (JR河内豊洲駅から徒歩5分))
 ◆講師 春日直樹さん(リニア市民ネット大阪)
 ◆参加費 500円
 ◆連絡先 072-892-4938(松林村)
 ◆主催 交野・憲法とくらしを考える会
 北陸新幹線やリニア新幹線の問題点について、交野市の地下水に与える影響も幅広い観点から話していただきます。

【枚方自閉症児(者)親の会】

講演会「配慮を必要とされる方とご家族の防災について」
 ◆日時: 10月11日(土) 13:30~15:00(開場13:15)
 ◆場所: ラポールひらかた 3階研修室1
 ◆講師: 吉田琴美氏(Cherish~スペシャルニーズのある人と家族の暮らしを支える会 代表)
 ◆参加無料(定員50名 当日先着順)
 災害はいつ発生するかわかりません。災害時に集団での避難生活に不安を感じておられるご家族もいらっしゃるのではないのでしょうか。高齢者や障がい者など支援が必要な人々の防災対策をお話しします。
 ※連絡先 春名 072-397-0053 団 072-868-7359

応援よろしくお願ひします♪

LIP応援団

LIP会計報告(前号以降)

金額(円)	内容
25,304	前号から繰り越し
3	銀行利息
▼2,904	9月号用紙
▼500	ロッカー一代
▼1,280	8月号印刷代
20,623	計(次号へ繰り越し)

STOP WAR NOW LOVE & PEACE

◆ふと気づくともう8月も終わり。早朝と夕方は少し過ぎやすい日もありますね。Windows10のサポート切れまであと2か月もない。結局自分の対処もギリギリになってしまった。お金も無いし、また中古PCを物色するかな。(w)

◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか?



イラスト 表紙、裏表紙: 平井由恵 P2: よし美



新しいジブン、見つけてみいへん?
枚方で仕事を探すなら!

ひらっコー求人

ほぼ枚方市内と近くの求人だけ集めた枚方つーしんの求人情報ページ

ひらっコー 求人 🔍
 WEBからアクセス ➡

